

アラート通知機能とは

<設定画面>

ホーム > アラート通知 > アラート通知作成

※は必須入力項目です。

タイトル ※

対象コンテンツ

カテゴリ ※1

コンテンツ種別 ※2

コンテンツ名 ※3

※1~3が未選択の場合は全てのコンテンツが対象となります。

対象コンテンツ確認

カテゴリ	コンテンツ種別	コンテンツ名
<		>

条件設定

対象期間 ※

直近1週間

直近1カ月

特定期間 ~ ※特定期間の場合、開始日、終了日は必須です。

対象種別 ※

更新有

視聴回数 ※視聴回数の場合、回数は必須です
※動画のみ視聴回数は、通知日時の前日までの集計結果が対象となります。

メッセージ

通知先設定

通知タイミング ※

毎日

毎週

毎月

特定日

Slack配信先設定 ※1

Slack Webhook URL	Slackチャンネル名
<input type="text" value="Slack Webhook URL"/>	<input type="text" value="Slackチャンネル名"/>

- ・コンテンツのカテゴリ
- ・コンテンツ種別
- ・コンテンツ名

と

- ・対象期間（直近1週間/直近1ヶ月/指定期間）
- ・閾値（閲覧●回以上/以下）やデータ更新の有無

を選択して

- ・指定した周期（毎日・毎週・毎月）と時間
- もしくは
- ・特定の日時

に

- ・指定した宛先（メール・Slack・TeamsChatwork）

にメッセージ通知が送れる機能

コンテンツの利活用状況の把握や周知過程をオートメーション化

① 人気・高活用コンテンツの把握&周知

用途別・コンテンツ区分別に閾値を設け、**人気コンテンツや、活用度合の高いコンテンツを把握し、コンテンツ運用や制作の企画**に活かせる（**指定送付先へのレポート**もできる）

② 不人気・未活用コンテンツの把握&周知

用途別・コンテンツ区分別に閾値を設け、**不人気コンテンツや、活用されていないコンテンツを把握し、コンテンツ内容・周知方法の改善**に活かせる（**指定送付先へのレポート**もできる）

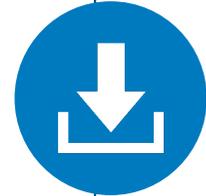
③ コンテンツの新規登録・更新状況の把握&周知

指定した期間やカテゴリーに**新規登録、更新があったコンテンツを、予め設定した送信先に知らせる**ことができる

(例) マーケティング部門で…

Webにダウンロード資料（お役立ち資料等）を掲載している方…

- ✓ 毎月月初に、前月に10回以上閲覧された人気のダウンロード資料を営業チームのMLに自動共有
 - ・時期に応じてお客さんによく見られている資料を自動共有できるので、市場傾向が掴みやすくなる
 - ・「人気のマーケコンテンツを営業が知らない」問題の解決に繋がる



ウェビナーのアーカイブ動画をWebで配信している方…

- ✓ 週に10回以上閲覧されたアーカイブ動画を、毎週月曜10:00のチーム会議前に自動共有
 - ・顧客の動向や興味関心の把握し、次期ウェビナー企画の参考にする
 - ・人気のある過去のウェビナーは再利用（オンデマンド配信）したり、マーケ活動の幅を広げる



展示会に出展している方…

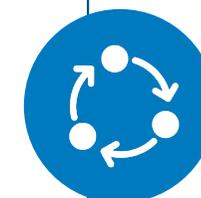
- ✓ 配布した資料URLがどれくらい見られたのか（見られていないのか）を、展示会期間中、毎日終了時点の18:00に把握
 - ・渡したきりになっている資料を、実際に見てくれているのか、反響を知ることができる
 - ・資料テーマが魅力的なものなのか、来場者のニーズにマッチしているのか把握する



(例) 営業部門で…

営業向けのサービス資料を制作、都度更新している営業企画の方…

- ✓ 新たなサービス資料の登録や、資料の更新が発生したら、翌営業日の朝9:00に営業チームに自動通知する
- ✓ 毎月1回、1ヶ月間で1度も閲覧されていなかったコンテンツを把握する
 - ・資料を作ったままにせず、実際に活用されているかどうかを把握し、ユーザーニーズの再考や、営業への周知方法を改善する



インサイドセールス/フィールドセールスの方…

- ✓ サービス資料や提案書の雛形、契約書類やマニュアルなど、新たなコンテンツ・更新されたコンテンツが発生したら、自チームのメーリングリストに自動通知を受ける
- ✓ 毎月1回、他の営業がよく使っている（例：20回/月以上閲覧されている）資料や動画コンテンツのレポートを受け取る
- ✓ 他部門（マーケティング部門等）がコンテンツをアップしたら自動通知し、毎日始業時にチェックする

